

# 平成26年度 総合計画 特別養護老人ホーム 星の郷

## ○ 施設運営

- ① その方に合ったサービスが提供できるよう、認知症ケアのアセスメントツール(センター方式)を導入し、入所者・家族の思いに気づき、思いに添ったケアができるよう他職種連携したケアを目指す。
- ② 利用者の方々が安心・安全に生活できるよう、感染症の発症、及び事故発生予防に努める。
- ③ 医療と連携を密にし、ターミナルケアの充実を図る。
- ④ 第三者評価事業の導入を目標とし、サービスの質の向上に繋げて行く為に、サービス内容や運営面についての取組みを具体化し、情報の共有・検討をしていく。
- ⑤ 家族・地域並びに関連機関への広報活動及び情報開示として、当法人情報開示(内規)に定められた書類等の開示をホームページや広報誌を利用し行う。
- ⑥ 施設として、介護保険法令及びその他の法令に対しても法令遵守が確実に行われている事を確認し、法令遵守の周知徹底を図る。
- ⑦ 地域福祉活動。

## ○ 生活支援

- ① 入所者の状態に合わせた介護・入所者が求める介護の提供ができるよう、研修・勉強会等に参加し知識・技術の向上を図る。
- ② 職員による会議・委員会により処遇の問題点に気づき、いち早く改善に努める。
- ③ 家族会の開催、カンファレンス・連絡・相談等を随時行う事で、入所者・家族・職員の交流ができ、意見・要望等が把握しやすくなることで、その方にあったケアプランの作成ができ、実行にうつせる。又、その方らしい生活が送れるよう他職種連携していく。
- ④ 入所者の要求を把握し、日頃施設内での生活とは違った楽しみが提供出来るよう、様々なレクリエーションや行事等を企画し実行する。又、家族と入所者のふれあいの場がもてるようにする。
- ⑤ 日々の生活が少しでも満足してもらえるよう、入所者のアセスメントを行い、要望等にこたえられるようにする。

## ○ 安心、安全、快適な生活環境

- ① 入所者が心豊かに生活できるよう施設内外の環境整備に努める。
- ② 災害からの生命の安全と施設財産の保全を確保するために、施設の安全点検及び防災訓練を積極的に実施し、予想される東海地震の対策に万全を図る努力をする。
- ③ ユニットケアのできる構造をいかし、フロア毎の個性を入所者と共に作り上げ、安心安全に生活できる環境作りをしていく。
- ④ 感染症に対する知識を習得し、感染症対策並びに感染予防対策を周知徹底する。
- ⑤ その方の行動パターンの把握や個々にあった対応・環境等を整備し、事故の軽減に努める。

## ○ 身体拘束の取組み

身体拘束について、全職員が共通の認識を持ち、身体拘束がない状態を維持する。また、身体拘束について施設内での研修を開催する。

## ○ 地域交流とボランティア受け入れ

- ① 地域に開かれた施設を目指し、地域福祉活動を積極的に行う。地域福祉活動を通して、地域とのつながりを維持し、施設行事へ参加して頂いたり、地域行事に参加していく。
- ② 各種ボランティア団体、幼児・学生及び地域住民等のボランティアの受け入れや地域交流の場への積極的な参加をしていく事で、入所者のコミュニケーションの場を拡大し、日常生活の活性化を図る。

# 平成26年 処遇計画

## 特別養護老人ホーム星の郷 ・ ショートステイ星の郷

### ○ 介護部門

#### 【全体目標】

利用者本人がその人らしく自立した生活が送れるよう、個々の利用者の状態把握に努め、半年毎にカンファレンスを開き、サービスの計画(ケアプランの作成)を立て、サービスの提供をする。カンファレンスには家族の参加を呼びかけ、参加して頂くことで、家族の思いや意向を反映させていく。

ケアプランにそったサービスの提供ができるよう、また、サービスの質を上げて行く為にも、研修会・勉強会への参加や資格取得を目指し、介護の知識や技術の向上に繋げていく。

認知症の人が増えている中で、在宅生活が困難になった認知症の方の受け入れが求められています。対応の難しさもあるなかで、認知症になっても尊厳ある生活を送れるように、また、その方らしい生活を送れるように、認知症の人一人ひとりの姿に目を向け、よりよい暮らしの提供ができるように努める。

他職種との連携を図り、よりよいサービスの提供ができるように努める。

#### 【具体的な処遇計画】

日常生活動作(食事・排泄・入浴・更衣・整容・移動)について

個々の利用者の状態をアセスメントし、その方にあった方法で介助できるように努める。また、定期的なモニタリングとカンファレンスを行なう事で、ケアの見直しを行い、その時の状態に合わせた介護ができることで、事故予防に努める。

ケアプランをもとに介護計画書を作成し、統一したケアが出来る様にする。

日々の変化に気づく為にも、こまめに記録を残していく。また、他職種と情報共有していくことで、異常の早期発見・対応につなげていく。

身体拘束について

施設内では、身体拘束0に努める。

拘束せずに日常生活を送ってもらえることができるよう、身体拘束をする事によっておこる弊害を理解し、個々の状態把握を細かく行うことで、身体拘束に結びつきそうな原因を見つけ、対処していく。

感染症について

職員が感染の媒体にならないよう、自己管理を徹底していく。

感染症対策・予防対策を行う。また、知識の習得や環境整備に努める。

生活環境について

フロア毎に生活しやすい環境(物の配置・清潔等)を作っていく。また、生活の質の向上を目指し、利用者を楽しい日々を過ごして頂けるよう、行事やレクリエーション等の計画を立て、生活の満足につなげていけるように努める。

認知症ケアについて

認知症になっても、いつまでも自分らしく安心して過ごして(暮らして)もらえるように、認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式のシートを活用し、本人本位のケアができるよう、利用者・家族と共によりよい暮らしを目指す。

機能訓練について

その方らしい生活を維持して行くためにも、心身の状態が維持できるよう、機能訓練士による機能訓練の実施や他職種と連携して機能訓練・レクリエーション・趣味活動等を行っていく。

ケア連携について

特別養護老人ホームにおける介護職員と看護職員の連携・協働による医療的なケアの在り方として、たん吸引等の取扱いについて研修会を行う。

看取りケアについて

その方らしい最後をむかえられるよう、また、看取りケアの質向上の為にも、ケア実践に必要な外部研修に参加したり、施設内でも研修計画をたて、他職種連携しながら専門性をみにつけていく。

利用者・家族の願いや思いをくみ取り、命ある限り死の直前まで人として尊厳ある生を全うできるように、また、安らかな最期を迎えられるよう支援していく。その為にも、カンファレンス・話し合いを行い、他職種連携し、日常的なケアの充実、精神的・身体的支援へとつなげていく。

## ○ 看護部門

### 【目標】

健康状態の維持、一般状態の観察、合併症・褥瘡等の予防、服薬・投薬の管理、異常の早期発見、および主治医や病院への連絡体制を確立しスムーズな受診に繋げる。そこで、利用者の病状等に応じた対応が図れるよう、医療設備等補充を検討する。また、感染症の発症を防ぐ努力として、感染経路に応じた適切な対応を図る。

### 【健康診断等】

#### 1) 健康診断

実施回数 : 年1回  
対象者 : 入所者全員・職員全員

#### 2) 腰痛検診

実施回数 : 年2回(6か月以内毎に1回)  
対象者 : 介護・看護職員全員

#### 3) インフルエンザ予防接種

実施回数 : 年1回  
対象者 : 入所者全員・職員全員

### 【嘱託医等往診】

- 1) 内科医 : 毎週1回
- 2) 歯科医 : 毎週1回
- 3) 精神科医 : 毎月1回
- 4) 皮膚科医 : 毎月2回

### 【日々の健康診断】

- 1) 検温 : 要観察者は 6時・10時30分・15時30分・20時 に測定  
入浴者は 9時・13時 に測定
- 2) 体重測定 : 毎月1回
- 3) 血圧検査 : 要観察者は 6時・10時30分・15時30分・20時 に測定  
入浴者は 9時・13時 に測定

### 【具体的な計画】

#### 1) 生活援助について

生活状態を把握しADLの維持ができるよう、自立支援に努め、安全・安楽で尊厳ある生活支援を行う。

異常の早期発見ができるよう、個々の現状の把握に努める。

#### 2) 生活環境の整備について

明るく、清潔な環境(室温、湿度、換気、清掃)に気を配り、転倒予防に努める。

感染症の集団発生を防ぐ為、施設内の設備整備を積極的に行い、感染対策並びに予防対策を職員に周知徹底させる。

#### 3) 他職種とのケア連携を図る

入所者の可能性を最大限に引き出し、生きる喜びをもたらすような対応、精神的な衰退に対するケアを積極的に行う。

また、医学知識向上のため、文献整備及び研修会への参加に努め、他職種への勉強会(疾患及びそれに関する対応の仕方について)を開催していく。

特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員の連携・協働による医療的なケアの在り方として、たん吸引等の取り扱いについての研修会(フォローアップ研修等)を行う。

看取り期におけるケアの判断と対応については指導的役割を担っており、看取りケアの質の向上の為に、研修会等へ参加し知識・技術の向上に努める。また、看護職員を中心に他職種と連携・協働し、「死生観」の育成や勉強会を開催していく。

#### 4) 家族との対応について

ADL低下に伴う身体異常の早期対応、家族への報告を行い、家族の意向に沿った看護を行う。

## 年間行事等計画

開催月	行事名	クラブ活動	レクリエーション	備考
4月	お花見	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
5月	端午の節句 (青空お食事会)	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
6月	運動会	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
7月	七夕	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
8月	花火大会(8月1日予)	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
9月	敬老会 秋祭り	(9月7日予) お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
10月				
11月	紅葉狩り	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
12月	忘年会(12月5日予) クリスマス会(12月25日予)	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
1月	ほろ酔い会(1月18日予)	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
2月	豆まき	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
3月	ひな祭り	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	お掃除ボランティア
<p>その他の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアの受け入れ(各フロア毎に行事やレクで随時受け入れ)</li> <li>・ 家族交流会(各フロア毎に実施)の開催(年2回程度)</li> <li>・ クラブ活動の充実 : 書道・手芸・お料理・俳句 等 (随時実施)</li> <li>・ 各フロア毎に行事やレクリエーション等の写真の掲載を行う。 又、フロアの雰囲気作りとして、季節に合わせ壁の飾り付けを行っていく。</li> </ul>				
<p>※ 花火大会・敬老会・秋祭り・ほろ酔い会は実行委員会(各フロア担当から選出)が企画運営する。その他の行事は、行事担当(フロア毎)が担当する。</p>				

# 会議・訓練・研修等計画

	会 議	訓 練	外 部 研 修 計 画
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体集会(第3火)</li> <li>・ 事業所会議、給食会議、防災会議(第3火)</li> <li>・ 委員長連絡会(第3月)</li> <li>・ リーダー会議(第1木・第3木)</li> <li>・ ケア連携(第3木)・フロア会議</li> <li>・ リスク委員会(第1水)</li> <li>・ ケア委員会(第2水)</li> </ul>	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任職員研修 I (中部 I)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症委員会(第1金)</li> <li>・ 防災委員会(第2火)</li> <li>・ チューター会議(隔月)</li> <li>・ 相談員連絡会 (1回/3ヵ月)</li> </ul>	避難誘導訓練  消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任職員研修 I (中部2)</li> <li>・ タッピングタッチ基礎講座(新規)</li> <li>・ 接遇・マナー講座(基礎編)</li> <li>・ 続・認知症高齢者支援講座(東部)</li> <li>・ 中堅職員研修 I (中部)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅連絡会 (1回/3ヵ月)</li> <li>・ 花火大会 打ち合わせ</li> <li>・ 敬老会、秋祭り 打ち合わせ</li> <li>・ 花火大会 打ち合わせ</li> </ul>	防火訓練 避難誘導訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症介護予防講座</li> <li>・ 新任職員研修(中部3)</li> <li>・ 感染症講座(初級)</li> <li>・ 認知症の人のためのレクリエーション</li> <li>・ リスクマネジメント講座(基礎編)</li> <li>・ 福祉職のための文章力向上講座</li> <li>・ 会議力向上講座</li> <li>・ 介護技術基礎講座</li> <li>・ 続・認知症高齢者支援講座(中部)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敬老会、秋祭り 打ち合わせ</li> <li>・ 花火大会 打ち合わせ</li> </ul>	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護記録の書き方講座</li> <li>・ コミュニケーション講座(基礎編)</li> <li>・ 介護技術基礎講座</li> <li>・ 福祉職のための腰痛予防・リフレッシュ講座</li> <li>・ 新任職員研修(東部)</li> <li>・ 中堅職員研修 I (東部)</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敬老会、秋祭り 打ち合わせ</li> </ul>	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 権利擁護、成年後見セミナー(基礎編)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敬老会、秋祭り 打ち合わせ</li> </ul>	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 権利擁護、成年後見セミナー(応用編)</li> <li>・ ターミナルケア入門講座</li> <li>・ 新任職員研修 II - 1</li> <li>・ 介護予防のためのレクリエーション</li> </ul>
10月		避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任職員研修 I (中部4)</li> <li>・ フットケア講座</li> <li>・ 感染症講座(中級編)</li> <li>・ 介護職が知っておきたい高齢者の皮膚ケア講座</li> <li>・ 看護師研修</li> <li>・ 福祉職場のストレスマネジメント講座</li> <li>・ 人も組織も伸びる～スタッフ教育の課題解決の方法</li> <li>・ 口腔ケア講座</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほろ酔い会 打ち合わせ</li> </ul>	防災訓練  避難誘導訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉職場の組織性向上講座</li> <li>・ 新任職員研修 I (中部5)</li> <li>・ 施設における高齢者虐待予防のためのワークショップ</li> <li>・ コミュニケーション技法講座(応用編)</li> <li>・ 福祉職場の「困った」事例に学ぶ！リーダーの役割と人材育成の心得</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほろ酔い会 打ち合わせ</li> </ul>	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より良いチームケアのためのおきのお話</li> <li>・ 中堅職員研修 II (中部)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほろ酔い会 打ち合わせ</li> </ul>	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排泄ケア講座</li> </ul>
2月		避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中堅職員研修 III</li> </ul>
3月		避難誘導訓練 消火訓練	
年間		通報訓練(年3回)	

# 会議・委員会構成図

## 事業所会議(給食・防災・安全衛生・等)(第3火)

施設長、主治医、副施設長、事業部部長、在宅部長、事業部次長、事務長、  
事業部・施設課長、看護課長

特養介主任、特養介副主任、特養相談員・ケアマネ、管理栄養士、ショート、デイ、ヘルパー、  
在介、居宅、いちばん星居宅・いちばん星デイ

## 感染症対策会議・身体拘束会議(随時)

施設長、主治医、副施設長、事業部部長、事業部次長、事務長、施設課長、看護課長、  
特養介主任、特養副主任、特相・ケアマネ、各ユニットリーダー(AB CD EF GH)、デイ

### ケア連携 (第3水・第4木曜日) (※たん吸引等含む)

施設長・主治医・施設課長・看護課長・  
特養主任・副主任・相談員・ケアマネ・  
管理栄養士

広報	看護師 連絡会	相談員 連絡会 (1回/ 2.5日)	在宅 連絡 会(1 回/3カ 日)	リーダー会議(第1金・第3木)					委員長連絡会(第3月)				
				NS・CW各主任・CW副主任・各リーダー・相談員					ケア(食事)	リスク	感染症	防災	
4月	毎月 第3木	6月25日	4月						長				
7月		9月24日	7月						サブ				
10月		12月24日	11月										
1月		3月25日	1月	AB	CD	EF	GH	デイ	ケア	リスク※1	感染症	防災	
									第2水曜日	第1木曜日	第1水曜日	第2火曜日	
				A B 所属職員	C D ・ シ ョ ー ト 所 属 職 員	E F 所 属 職 員	G H 所 属 職 員	デ イ 所 属 職 員	AB				
									CD				
									EF				
									GH				
									NS				
									デイ				

※1 リスク委員会には、身体拘束も含まれる。

【会議・委員会の取組み内容】

会議・委員会 名	内 容
フロア会議	業務の見直し・検討。利用者に対するケアの統一。
ケアカンファレンス	ケアプランの評価・検討・見直し。(家族参加有)
リーダー会議	各フロアからの報告・連絡・相談。今後の方向性の検討・見直し等。
ケア連携	痰吸引等に伴う多職種連携。多職種間の業務連携。
事業所会議	各事業所からの報告・相談等。周知事項の報告。事業運営の見直し・検討。各事業所の現状把握と今後の対応。(安全衛生・感染症等)
給食会議	施設と委託業者との意見交換等。食事検討会。
防災会議	防災訓練、災害時の対応についての検討。
全体集会	辞令の交付。グループ討議。委員会・事業所からの取り組み(課題等)の報告。全体研修(勉強会)等。
在宅連絡会	法人内在宅サービスの横の連携を強くし、サービスの質の向上を目指す。また、職員の意見交換等を行うことで、個々のスキルアップにつなげる。
相談員連絡会	法人内相談員の連携を図り、サービスの質の向上を目指す。
委員長連絡会	委員会同士の連絡・報告・連携調整。
ケア委員会	日常生活支援(食事・入浴・排泄・環境・生活等)のサービスの質を見直し、向上に努める。マニュアルの見直し。勉強会の開催。接遇マナー。センター方式を使ったケアの見直し。介護記録の書き方・活かし方勉強会。コミュニケーション技法の勉強会。
リスク・身体拘束委員会	事故原因の追究と利用者の状態把握をすることで、同じ事故を繰り返さないよう事故予防に努める。また、ヒヤリ・ハットを生かせるよう取り組んでいく。身体拘束”0”に向け、随時対応を見直し、取り組みを行っていく。マニュアルの見直し。移乗・移動・身体拘束・認知症ケア等の勉強会の開催。
感染症委員会	職員が媒体にならないよう、感染予防に努める。マニュアルの見直し。嘔吐処理の勉強会。環境整備(居室・フロア等の清掃含む)・点検。勉強会。
防災委員会	防災訓練等の計画・立案及び、防災意識向上を目的とした職員及び利用者に対する防災教育を実施する。

内部研修・勉強会開催計画

月	内 容	講 師	月	内 容	講 師
4月	・ 嘔吐処理 ・ 新人教育 ・ 感染症予防(勉強会)	感染症委員会 感染症委員会	10月	・ 嘔吐処理・感染症予防 ・ 資格試験対策 ・ 嚥下勉強会 ・ おむつ勉強会	感染症委員会 ケア委員会(業者依頼) オムツメーカー担当者
5月	・ 嘔吐処理 ・ おむつ勉強会 ・ 嚥下勉強会	感染症委員会 オムツメーカー担当者 ケア委員会(業者依頼)	11月	・ リスク(身体拘束)勉強会 ・ 嘔吐処理 ・ 資格試験対策	リスク委員会 感染症委員会
6月	・ 防災勉強会 ・ 嘔吐処理	防災委員会 感染症委員会	12月	・ 嘔吐処理 ・ 資格試験対策 ・ 防災勉強会	感染症委員会 防災委員会
7月	・ 糖尿病勉強会 ・ 嘔吐処理	ケア委員会(業者依頼) 感染症委員会	1月	・ 事故予防勉強会 ・ 嘔吐処理 ・ 資格試験対策	リスク委員会 感染症委員会
8月	・ リスク(移乗等)勉強会 ・ 嘔吐処理	リスク委員会 感染症委員会	2月	・ 嘔吐処理 ・ 資格試験対策 ・ 糖尿病勉強会	感染症委員会 ケア委員会(業者依頼)
9月	・ 嘔吐処理 ・ 資格試験対策 ・ 認知症勉強会	感染症委員会 リスク委員会	3月	・ 嘔吐処理 ・ 認知症勉強会	感染症委員会 リスク委員会

平成26年度給食について事業計画  
特別養護老人ホーム 星の郷  
ショートステイ星の郷 ・ デイサービスセンター 星の郷 ・ いちばん星

【栄養・調理業務方針】

食事サービスを、ケアサービスの一環と認識し、健康の保持ばかりではなく、楽しみにしていただくことができ、豊かな生活を送るための大切な役割も果たせる事を基本とし、季節感あふれた美味しい食事を提供する。その為に、介護食と言われる食事についての知識・技術力習得に努める。

また、ショートステイ・デイサービス利用者の食事についても、同様に実施する。

なお、入所者については、「栄養ケアマネジメント」に基づく栄養管理の充実を図り、栄養ケア計画書の作成管理を進める。

1. 安全な食事の提供

- ① 食中毒を防ぎ、安心して食事が出来るよう努める。
  - ・ 調理の仕事は、入所者の尊い生命を預かっていることを自覚し、調理室の清潔を保つ。
  - ・ 食事介助等に携わる職員は、清潔な身支度を整え、衛生的な食品の扱いについて知識を深め、併せて自己の健康管理に努める。
  - ・ チェック表を活用し、衛生管理を徹底する。

2. 健康の維持と疾病の予防、治療

- ① 施設の栄養所要量に基づく献立により、健康の維持を図る。
- ② 嚥下障害などにより、食事摂取困難な利用者の食事に工夫を凝らし、量が少なくともバランスのとれた食事を提供する。
- ③ 機能低下に合わせた食形態の充実を図り、安全な食事を提供する。
- ④ 医師の指示による治療食、風邪などにより日常の食事が食べられない時に対応する応急食、栄養を補うための捕食等を充実し、疾病の悪化防止と回復に努める。
- ⑤ 治療食を必要とする人が偏った食嗜好を持つ場合は、栄養素について説明する機会を設けることにより、栄養に関心をもっていただき、健康維持に役立てていただく。

3. 生活に豊かさと満足感を味わえるような食事の提供

- ① 嗜好を把握する
  - ・ 嗜好・残菜状況等を把握し、献立に反映させることで喫食率の向上を図る。
  - ・ 定期的に希望献立、日常の食事についての意見を聴き、要望を取り入れるように心がける。
- ② 行事食の充実
  - ・ 食生活に変化を持たせるものとして、季節の行事食や給食レクリエーションを充実する。
  - ・ 四季折々の行事を盛り込んだ行事食を、メニュー内容とともに、メッセージカードを添えるなど視覚への演出も凝らし行う。
  - ・ 選択メニュー・デモクッキングなどを、可能な限り取り込んで日々の生活を充実させることに努める。
  - ・ 利用者の出身地にちなんだ郷土料理を提供することにより、食生活に変化をもたせるように努める。

4. 栄養ケアマネジメントの実施

- ① 食事中の巡回指導に努め、嗜好等を食事内容・ケアプランの策定に生かしていく。
- ② 食事内容に変更があった場合は、速やかに情報提供を行い、ケアプランの見直しを図る。

5. 委託会社との連携を充実させる

- ① 非常時の対応、日常業務など、意見交換を行い、業務の質向上に努める。
- ② 内部研修を推進し、安全で満足感の高い食事を提供できるよう努める。



平成26年度給食行事食 事業計画  
 特別養護老人ホーム 星の郷  
 ショートステイ 星の郷 ・ デイサービスセンター 星の郷

【目的】 利用者に暦行事・施設の行事と併せ、その行事に合った食事を提供することで、季節を感じていただき、楽しみにしていただける給食を目指す。

前 期			
月	日	暦行事・イベント名等	行事内容
4月	3日	ひな祭り	行事献立 カード
	8日	はなまつり	
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	お花見会	昼食を弁当箱に詰めて提供
5月	未定	お料理クラブ	
	2日	八十八夜	茶飯 カード
	5日	こどもの日	行事献立 カード
	11日	母の日	お赤飯 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	遠足	昼食を弁当箱に詰めて提供
6月	未定	お料理クラブ	
	15日	父の日	お赤飯 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	運動会	あんぱん
7月	未定	お料理クラブ	
	7日	七夕	七夕そうめん カード
	29日	土用の丑	うなぎ カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
8月	未定	お料理クラブ	
	1日	花火大会	行事献立 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
9月	未定	お料理クラブ	
	8日	十五夜	行事献立 カード
	15日	敬老の日	行事献立 カード
	23日	秋分の日	おはぎ カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
9月	未定	お料理クラブ	

後 期			
月	日	暦行事・イベント名等	行事内容
10月	1日	創立記念日	行事献立
	6日	十三夜	行事献立
	13日	体育の日	行事献立 カード
	未定	秋祭り	
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
10月	未定	お料理クラブ	
	15日	七五三	行事献立 カード
	23日	勤労感謝の日	お赤飯 カード
11月	未定	紅葉狩り	昼食を弁当箱に詰めて提供
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	お料理クラブ	
	12月	5日	忘年会
22日		冬至	南瓜料理 カード
25日		クリスマス会	行事献立 カード
31日		大晦日	年越しそば 天ぷら
未定		お楽しみおやつ会	おやつ作り
12月	未定	お料理クラブ	
	1日	お正月	おせち料理 祝箸 カード
	7日	七草	七草粥 カード
1月	11日	鏡開き	おしるこ カード
	12日	成人の日	お赤飯 カード
	未定	ほろ酔い会	行事献立・餅つき
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	お料理クラブ	
2月	3日	節分	行事献立 カード
	14日	バレンタイン	チョコレートケーキ カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
2月	未定	お料理クラブ	
	3月	3日	ひな祭り
21日		春分の日	ぼたもち カード
未定		お楽しみおやつ会	おやつ作り
3月	未定	お料理クラブ	

実施日については、状況等により月毎に決定していきます。  
 また、皆様の要望等により随時増やしていきます。

平成26年度 防災訓練・災害対策 事業計画  
特別養護老人ホーム 星の郷  
ショートステイ・デイサービスセンター 星の郷・いちばん星

○ 目的

利用者の生命を安全第一に、地震、火災、風水害等の災害を物心両面にわたって予防し、人的・物的災害を軽減するために消防計画の整備を行い、次の通り対策及び防災訓練等を実施する。

○ 具体的対策・訓練

1 職員・利用者参加による防災訓練の実施

- ・ 通報訓練 年3回訓練
- ・ 消火訓練 年10回(消火器並びに消火栓を含めた訓練・点検)
- ・ 避難誘導訓練 年12回(事業所、各フロア毎に実施)
- ・ 総合訓練 年2回(内1回は夜間を想定する)
- ・ 非常連絡網における招集訓練の実施(全職員対象)  
また、初動体制を確立し、災害を想定して対応が図れるよう、防災委員が中心となって推進する。

2 職員の防災知識並びに防災意識の高揚を図るため定期的に防災教育を実施。

3 非常災害対策として、地震、火災、風水害等の想定される非常災害に対する具体的計画(マニュアル)の定期的な見直しを行い、職員に周知する。

4 防火設備、消火設備等の定期点検の実施

5 緊急通報システム(安否確認システム)導入に向けた取り組みを進めていく。  
(災害時の事業継続に向けた連絡ツール等)

6 富士宮市災害時の応援協定に従い、市と災害時応援協定締結者での情報伝達訓練を行い、災害対応のための連携強化を図る。

- 1) 社会福祉施設として、地域の要援護者の救済を目的とした体制作りの為、地域の組織形成の確立として以下の関係者と共に協力をしていく
  - ・ 地域代表者及び役員等(区役員、老人会、婦人会等)
  - ・ 民生児童委員
  - ・ 防災関係者(消防団等)
  - ・ 富士宮市

- 2) 近傍地域住民の受け入れ範囲の検討

- 3) 地域における避難を必要とする要援護者の把握等

7 震災対策とし、非常防災用具並びに備蓄飲食料の見直しを行う。

また、物資の転倒、落下防止対策及びガラスの飛散防止対策を講じる。